

日本環境感染学会主催 地域セミナーのご案内

この度、日本環境感染学会では、地域セミナーを下記日程にて開催させて頂くことになりました。インフルエンザ、ノロウイルスに加えて、薬剤耐性(AMR)、麻疹、激甚な災害時など、感染症は地球規模で伝播拡散する疾患であり、地域全体で対応する必要があります。

地域セミナーは、学会員は勿論のこと、地域の非会員の皆さまにも本セミナーを機会として、感染症対策に関わる最新情報を共有するとともに、地域連携の発展に大きく寄与することを願っております。皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

日 時： 2018年11月18日(日) 9時から16時

場 所： 川崎市コンベンションホール <http://www.kawasakicity-ch.jp>

(〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町2丁目)

参加費： 無料

定 員： 1,000名

後 援： 川崎市、横浜市健康福祉局、横浜市医療局、川崎市医師会、川崎市社会福祉協議会、**KAWASAKI 地域感染制御協議会**

認定単位： 日本医師会生涯教育カリキュラム (CC8 感染対策 3.5 単位, CC10 チーム医療 1 単位)、日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (2.5 単位)、感染制御認定臨床微生物検査技師 ICMT 認定更新 (3 単位)、専門看護師および認定看護師の自己研鑽ポイント (3 単位)

参加をご希望の方は、10月31日(水)までに下記事項を明記のうえ、Eメールで学会事務局宛て (jsipc@kankyokansen.org) に送信してください。申込は先着順とし、定員になり次第終了いたします。お電話・FAXでの申込は受付けておりませんので、ご了承下さい。

- ① 氏名 (ふりがな)
- ② 勤務先名称
- ③ 職種
- ④ 返信先メールアドレス

※メールの件名は「地域セミナー申込」と記載をお願いします。

タイムスケジュール

時 間	内 容	
9:00~9:05	開会の挨拶	
	國島広之（聖マリアンナ医科大学感染症学講座）	
9:05~9:20	医師会における感染症地域連携	
	宮川弘一（川崎市医師会）	
9:20~9:50	消毒から始める感染症対策 ～平時からそして災害時へ	
	高山和郎（東京大学医学部附属病院薬剤部）	
9:50~10:20	微生物の基礎と迅速診断検査	
	田中洋輔（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 臨床検査部）	
10:20~10:35	休 憩	
10:35~10:50	川崎市における感染症地域ネットワークの取り組みについて	
	小泉祐子（川崎市健康福祉局保健所感染症対策課）	
10:50~11:20	結核対策	
	長谷川直樹（慶應義塾大学医学部 感染制御センター）	
11:20~11:50	もう一步、麻疹・風疹対策	
	岡部信彦（川崎市健康安全研究所）	
昼 食		
13:00~13:30	血液媒介感染症・職業感染対策	
	吉川 徹（労働安全衛生総合研究所）	
13:30~14:00	AMR と抗菌薬の使い方	
	加藤英明（横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学）	
14:00~14:30	季節性インフルエンザ・ノロウイルスによる胃腸炎とその対策	
	高山陽子（北里大学病院感染管理室）	
14:30~14:45	休 憩	
14:45~15:00	横浜市感染防止対策支援連絡会の取り組み	
	東 健一（横浜市健康福祉局健康安全部健康安全課）	
15:00~16:00	現場からのパネルディスカッション：「その時どうする！～感染対策と地域連携の重要性～」	
	司会： 國島 広之、下川結花	
	川崎市立多摩病院医療安全管理室	中谷佳子
	神奈川県立がんセンター感染制御室	黒木利恵
	鶴巻温泉病院感染管理室	三橋奈美江
横浜市健康福祉局健康安全部健康安全課	赤松智子	
16:00~16:05	閉会の挨拶	
	賀来満夫（日本環境感染学会理事長）	